

れんごう

2010. 5. 1
号 外

日本労働組合総連合会新潟県連合会
県央地域協議会
(連合県央地協)

〒955-0044 三条市田島2丁目22-36

TEL 0256-32-6363 Fax0256-32-6490

第81回三条地区メーデー



メーデーって何?

●歴史

メーデーは、1886年5月1日にアメリカの労働者が、シカゴを中心に8時間労働制を要求するデモンストレーションを行ったことが始まりです。

それまでは1日12時間から14時間労働が当たり前だった当時、「第1の8時間は仕事のために、第2の8時間は休息のために、そして残りの8時間は、おれたちの好きなことのために」（「8時間労働の歌」）を目標に行われました。

1889年の国際会議でこのアメリカの労働者の闘いを記念して5月1日を国際的な労働者の団結と闘いの決意を示す日と決め、翌1890年にヨーロッパ各国やアメリカなどで第1回メーデーが実行され、以後も労働者の権利を主張する運動、また、国民がその時々を掲げ団結と連帯の力を示す日として行われてきました。

●日本のメーデー

日本では、1920年5月2日曜日に第1回のメーデーが上野公園で行われ、およそ1万人の労働者が「治安警察法の撤廃」「失業の防止」「最低賃金法の制定」などを訴えました。翌年からは5月1日となり、開催地や参加人数も増えていきましたが、1936年から1945年までの10年間は戦時下などの理由で開催が禁止されました。敗戦直後の1946年の大会では、北海道から九州まで開催し「働けるだけ喰わせろ」をスローガンに掲げ、11年ぶりに盛大に開かれました（飯米獲得人民大会「食糧メーデー」）。

日本の主権回復後に行われた1952年の第23回メーデーでは、サンフランシスコ講和条約、日米安全保障条約への抗議も主張に含まれ、一部のデモ隊が皇居前広場に入り、解散しようとした矢先に警官隊が撃ったピストルで多数の死傷者（死者2名、重軽傷者2千数百名）を出す事件（血のメーデー）もありました。

第81回メーデーのテーマは【共生・連帯】です。

安心して働ける社会であってこそ、みんなの生活や暮らしが守れます。まだまだ、厳しい経済・雇用情勢が続いています。参加者全員で「働き甲斐のある人間らしい仕事を求めていこう!」「戦争や紛争のない真の世界な平和をつくろう!」を訴え、力強く行動し、メーデーを成功させましょう!

連合県央地協議長 牧野茂夫

